

## 総務ブランディング委員会

委員長	上村	一						
副委員長	川田	匠						
運営幹事	常盤	尚揮						
委員	川内	賢幸	・	串間	由里奈	・	國分	葉月
	小玉	将臣	・	西川	彰	・	本	愛介
	脇元	亮	・	和田	幸太郎	・	BRIAN	WEE

### 【基本方針】

先人達が情熱を注ぎ、築いてこられたJC運動は、法人格の形は変われども、圏域の明るい豊かな社会に向けて邁進してきました。公益社団法人として7年目を迎えた今、我々青年会議所の本質である「自己成長」をより加速するために、法人格の在り方がそれになっっているのか、メンバーがこの会に真摯に向かい合い、これからのJC運動がさらに魅力的になるよう、今以上に、個人として、また、組織として力を発揮する必要があります。

まずは、最高意思決定機関である総会において、厳粛さを保ちながらメンバーの意思を集約することにより、都城青年会議所としての方向性を厳正に決定します。組織の要として、定款・諸規程をはじめとする成文律を把握、運用し、コンプライアンスも徹底しながら運営を行います。そして、例会における出席率の向上を図るため、メンバー一人ひとりに予定の事前確認を行い、参加意識を高めることで、年間を通しての100%例会を推進します。さらに、新入会員予定者の事前審査を厳格に行い、オリエンテーションでは、仮入会者がJCをよく理解し、意欲を持って入会できるように実施します。出向者報告会では、出向者を労いながら、LOM内の活動だけでは培えない価値観や魅力を熱く語り合えるような機会を創出します。また、「ファンづくり」については、組織運営と同様、年度内に実施する例会・事業を良く活用しながら一般の参加・参画を募り、組織としてこの圏域における信頼を高め、より多くの賛同者を得るために、青年経済人の集まりとしての多様性を生かした、都城青年会議所を身近に感じるためのブランディング活動を推進します。

下支えが強固な組織から、確固たる基盤が確立されます。情熱溢れる我々の志をもって、この学び舎で挑戦し、研鑽を共に積んだJAYCEEが、社会で一隅を照らし、やがてこのまちを、この地域を明るく照らし、JCが掲げる「明るい豊かな社会」を実現します。

【事業計画】(案)

1. 総会の運営、実施
2. 基本資料、総会資料の作成
3. 法人手続き、資産、備品管理
4. 定款・諸規程の運用、把握、見直し [共同]
5. 年間を通じた、都城J Cのブランディング運動
6. ホームページ、及び各メディアを活用した広報活動と管理運営
7. 例会における出席率発表
8. 例会、事業及び各種大会での出席状況把握
9. 選挙セミナーの実施
10. 新入会員予定者の事前審査、及びオリエンテーションの実施
11. 全国大会「宮崎」への参加企画
12. 日本J C協働運動・連携推進運動事業の窓口
13. 出向者報告会の実施
14. 名義後援の受付、理事会への上程
15. 創立55周年事業への参画(シニア部会)
16. 日本本会・九州地区協議会・宮崎ブロック協議会、及び出向者への協力支援
17. 共催事業への協力支援
18. 会員拡大 [最重要]

【予 算】(案)

1. 選挙セミナーの実施費(その他の事業費)	11,000円
2. 新入会員予定者のオリエンテーションの実施費(その他の事業費)	18,000円
3. <u>ブランディング運動実施費(その他の事業費)</u>	<u>71,000円</u>
合 計	100,000円